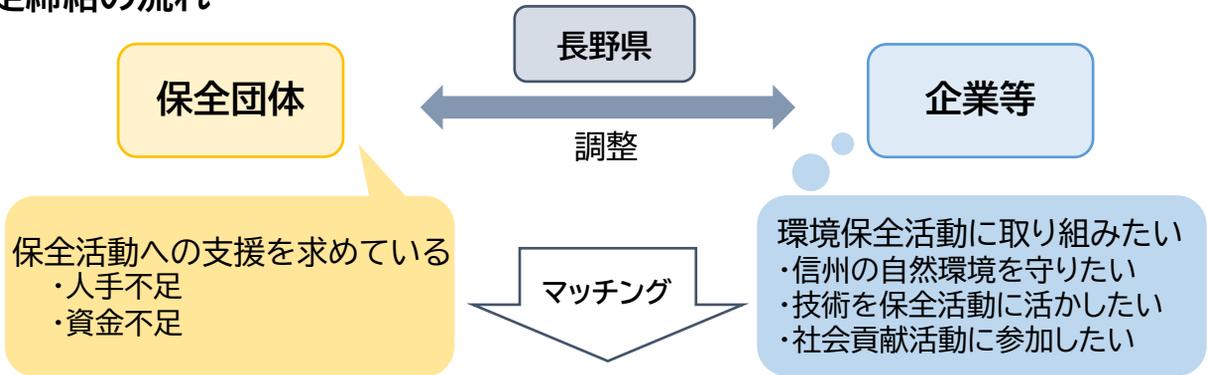


生物多様性保全パートナーシップ協定制度

信州の生物多様性の保全活動について、企業や学校など様々な主体の皆様と協働化を進め、社会全体で幅広く保全活動を支え合う仕組みづくりを目的とした制度です

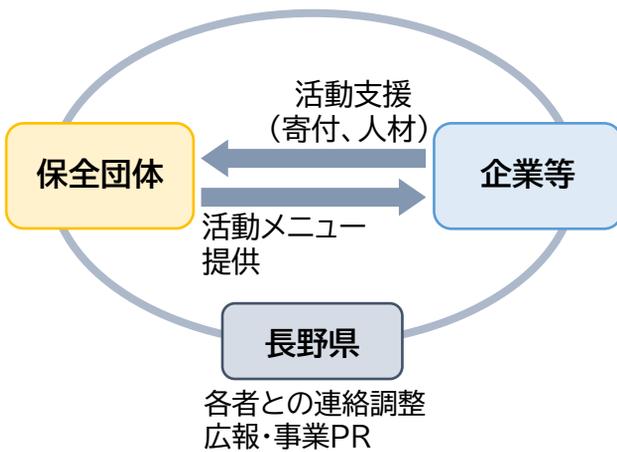
協定締結の流れ



生物多様性保全パートナーシップ協定の締結

協働で取り組む保全活動の内容、支援内容等を文書化

協定に基づく支援のイメージ



協定締結後の活動例



イヌワシの巣棚を人工的に再生(資金支援)



企業の敷地内にチョウの生息環境を整備(団体と企業の協働活動)



社員への環境教育学習(社員研修)



企業と地元中学校が協力するブナの植樹(団体と企業の協働活動)

企業等が保全活動に参画するメリット

○30by30に貢献
SDGsや30by30に向けた企業の取組みを社会にアピールすることができ、企業や組織のPRにつながります

○人材育成の場として活用
社員研修の一環として自然保護等の社会活動に関わることで、人材育成につながります

○地域貢献
地域の自然環境保全活動に参画することで、CSR活動につながります

協定に関するご相談・お問合せ先

長野県環境部自然保護課

TEL:026-235-7178(直通)

Mail:shizenhogo@pref.nagano.lg.jp